ゆとりあは、新潟市からの補助を受けて運営しております

第 66 号

ゆとりあん

発行日 令和 2年 9月 25日

社会福祉法人新潟しなの福祉会
地域生活支援センター「ゆとりあ」
〒950-0083
新潟市中央区蒲原町7-1東地区総合庁舎2F
TEL 025(240)8000 FAX 025(240)8111
相談専用 TEL 025(248)7170
E-Mail：yutoria@sweet.ocn.ne.jp
URL:http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/

★★★ 9月 ゆとりあ予定 ★★★

感染予防のため現在施設行事は中止しております。今後の状況の推移を見守り、感染対策をとりながら開催できることを考え始めています。お楽しみに。皆さんのご希望もぜひ聞かせてください。
行事を行う際は、改めてゆとりあ内の掲示板等でお知らせします。

ゆとりあからのお知らせ

ゆとりあ 開館時間について

当面の間 １０：００～１７：００ 利用時間は ３時間以内 を目途にお願いいたします。
※ご利用の際には受付時の体温測定、マスク着用、手の消毒・手洗い等にご協力をお願いいたします。

※開館時間等に変更のある際には改めてお知らせいたします。
大変ご迷惑をおかけいたしますが、安全に利用していただくためにご協力をお願いいたします。

作業体験を行いました

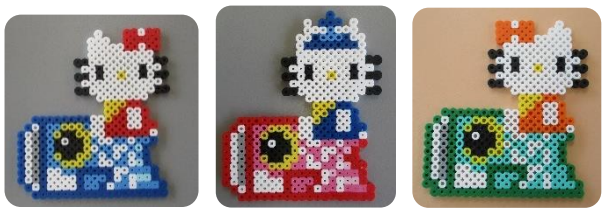
軽作業の体験として、ダイレクトメールの折り込みと封入作業を希望するメンバーと行いました。全部で７００通近くあったのですが、数名から「やるよ～」と快く参加して頂きました。

皆さんとても丁寧に作業されていて、慣れているメンバーは工夫して効率よく進めていました。
そのおかげもあって、大量の作業も一気に短時間で終わることができました！

皆さんが一生懸命に作業する姿はとても素敵で、思わず写真を何枚も撮ってしまいました（笑）普段のゆとりあでの姿とは違う一面をかいま見ることができました。
参加して頂いた皆様、お疲れ様でした！

ゆとりあの創作活動　毎週 月・水・金 14:00～16:00

ゆとりあで創作活動が始まって、早いもので４ヶ月が経とうとしています。今はアイロンビーズが中心ですが、可愛い作品から大きな作品まで、「すごい！よくできたね！」と思わず声が出てしまう作品がたくさん！毎回いろいろなアイディアが生まれています。とても簡単なので、まだ参加したことが無いという方も、お気軽にのぞいてみてください。また、今やっていない物でも、こんなこともやってみたい！こんなものを作ってみたい！という声もお待ちしています。最近の作品の一部をご紹介します♪

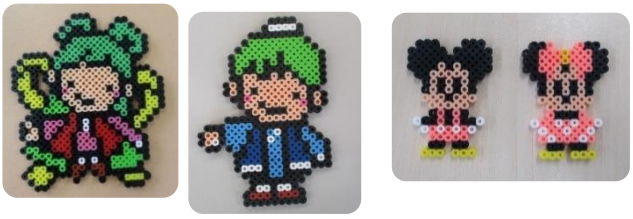


● 某猫キャラクターの鯉のぼりシリーズ！

下の部分から丁寧にビーズを並べて作られていました。コースターもあっという間に２つ作成されて、お揃いの感じがかわいいです♪

● 七夕の織姫と彦星です

大きさもあって迫力満点！作成したメンバーは出来た瞬間「思った以上に良く出来たわー！」と声を上げていました。某キャラクターもペアでピンクが光っています！

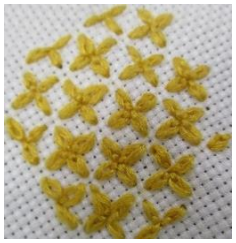


● オリジナルのコースター！

１枚は自由な発想で作って、後日ペアを作られていました。並べると、色合いがとても素敵です♪

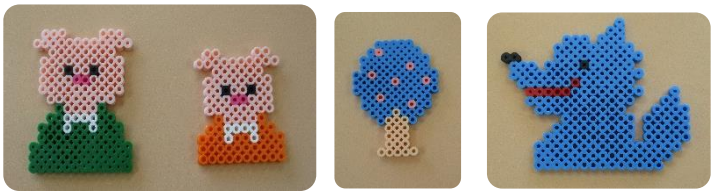
● 地刺し（刺繍）にも挑戦しています！

地刺しは網目が細かくて時間もかかりますが、一針一針丁寧に作られていました。完成まであと少し！



● 童話『三匹の子ぶた』のキャラクター！

童話と違ってオオカミも愛らしいです。



「十五夜」

秋になり、帰宅途中に月がきれいに見えるようになってきました。子どもの頃はススキやお団子を飾り、「お月見」を楽しんだ記憶があります。

十五夜は「中秋の名月」とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る月」という意味があるそうです。平安貴族が中国の風雅な観月を取り入れ、後に庶民に広がると、秋の収穫物を備えてみのりに感謝する行事となりました。芋類の収穫祝いを兼ねているので、別名「芋名月」とも言われるそうです。

「お月見」と言えばススキとお団子を連想しますが、ススキは月の神様の依り代と考えられ、本来はみのりを象徴する稲穂をお供えしていたようですが、稲刈り前の為ススキを用いるようになりました。

また、米文化が根付いている日本の行事には、餅や団子が欠かせません。お月見では満月に見立てた月見団子を備えて収穫に感謝し、これから実るものに対して豊作を祈願します。今年はお月見団子作りに挑戦し、「お月見」を楽しみたいと思っています。

わたなべ